

A : 「環境保全に及ぼす植林の効果」

中植健太、松田くるみ、田中美貴、村北亜衣沙

〈はじめに〉

私たちA班は「環境保全に及ぼす植林の効果～植林団体の活動から見えた能勢町の課題～」と題して課題研究を行った。

植林とは、木材生産や環境保全を目的とし、木を植えることである。環境保全のあり方としては、生態系の保全、地盤の安定化、水資源の確保、防風、材木確保などがある。現在、環境保全の一貫として多くのNPOやNGO団体、一般企業、各自治体が植林活動を行っている。各団体が行う環境保全を目的とする植林活動においても、砂漠化した土地を緑豊かに、大量伐採された森林をもとに戻す、海を豊かにするなど、植林を行う目的や、その土地の抱える課題は全く異なる。今回は、「NPO法人 森は海の恋人」、「サラヤ株式会社」、「マレーシアでの海外実態調査」、「能勢町の植林」の行っている植林活動の事例から能勢町の里山の危機について考察する。

〈事例紹介〉

(1) NPO法人「森は海の恋人」

森は海の恋人(NPO法人)は、もともと森林そのものの保全ためではなく「海を守る森作り」として海の保全を主体に植林活動を始めた。海の保全を考える時には森まで視野に入れ、また森の保全を考える時には海まで視野に入れるという、自然の繋がりを意識した活動をしている。

(2) 株式会社サラヤ

サラヤは、マレーシアのボルネオ島で採取された植物原料を使用している会社として、ボルネオ島の環境保全活動をしている。サラヤのプランテーションの拡大による熱帯雨林の減少から生じる問題が土壌汚染からの森林破壊や地球温暖化の促進、野生動物のすみかが奪われるという問題が発生した。そのため、企業の社会的責任を果たすという考えに至り、マレーシアの森林や野生動物の保全活動を行っている。

(3) マレーシア実態調査

私たちは、昨年11月に、マレーシアのペラ州タイピンにあるマタンマングローブ保護林に実態調査に行き、実際に植林活動を経験してきた。

マレーシア政府によって保護されているペラ州タイピンにあるマタンマングローブ保護林では、環境保全のためマングローブの植林と計画的伐採を行っている。

能勢町での植林の現状の紹介

私たちの住む能勢町では里山を活用して菊炭がつくられている。菊炭はクヌギを原材料としており、クヌギの植林や周りの環境を管理することが里山の環境保全につながっている。

〈結論〉

上記の事例は能勢町の財産である森林の保護は大きな可能性を秘めていることを示唆している。植林によって、炭の原木生産という範囲をはるかに超えて、大阪北部全体の自然保護、地域の経済資源の保護、生物多様性の保全など幅広い効果が期待できる。

環境保全に及ぼす植林の効果

～植林団体の活動から見えた能勢町の課題～

中植・松田・田中・村北

(1)

環境保全のための植林事例紹介

- ①NPO法人「森は海の恋人」
- ②株式会社サラヤ
- ③マレーシア
マタン・マングローブ保護林

(5)



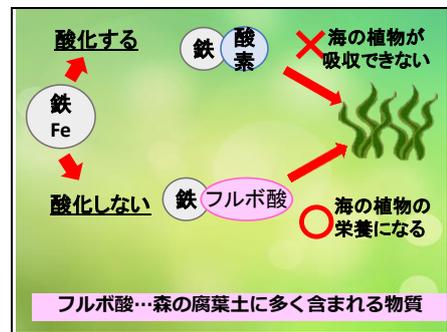
(2)



(6)

1. 植林の目的
2. 環境保全のための植林の事例
 - NPO法人の植林
 - 企業の植林
 - 政府主導の植林
3. 能勢町の森林

(3)



(7)

植林の目的とは？

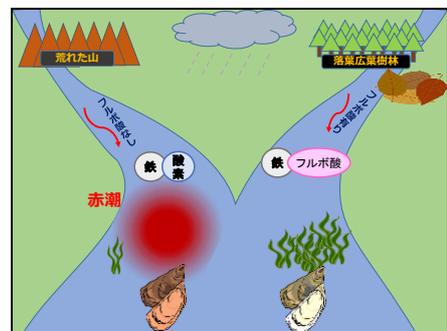
森林の保全

- 防災のため
- 環境保全のため

資源の確保

建築材、パルプ材、植物油などの商業樹種の植林

(4)



(8)

植林活動の効果

気仙沼湾に注ぐ大川上流部で
ブナやクヌギなどの広葉樹を植樹

↓ 約20年

復活！！

さらに・・・鮭の遡上
大津波の被害からの復活

(9)

サラヤによるボルネオ島の環境保全

取組み1
野生生物(象、オランウータン)の救助活動への援助

取組み2
RSPO(持続可能なパーム油のための
円卓会議)への参加

取組み3
ボルネオ保全トラスト(BCT)の立ち上げ

(13)

②サラヤ株式会社



(10)

植林活動の効果

動物たちから奪った
すみかを人間の手で戻す

⇒生物多様性を維持する
ことができる

(14)

プランテーションの拡大と熱帯雨林の減少

1970年代 86% → 2005年 60%

1984年 → 現在

モザイク状に残ったわずかな森

キナバタンガン川の今と昔

(■:熱帯雨林 ■:アブラヤシ農園)

(11)

**③マレーシア マタン・マング
ローブ保護林での実態調査**

レンジャーへのインタビュー
(ペラ州国立森林センターにて) 植林体験

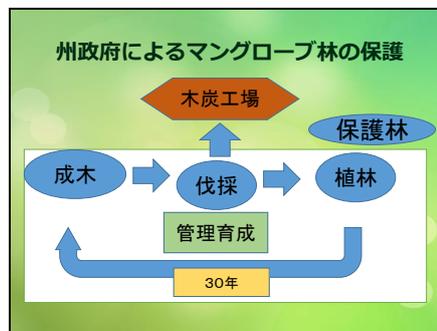


(15)

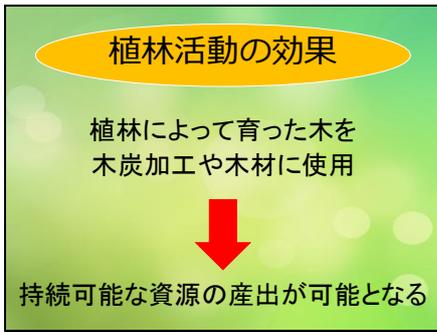
法的責任から
社会的責任 (CSR) へ

Corporate Social
Responsibility
CSR = 企業の社会的責任

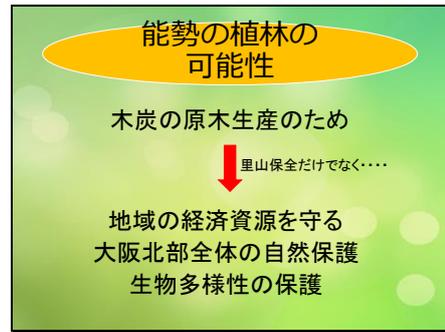
(12)



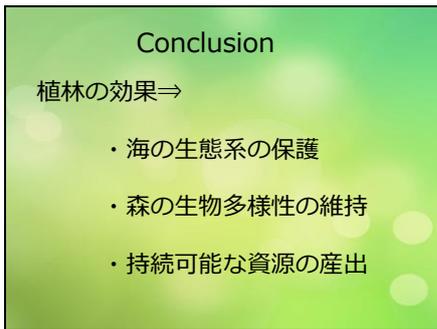
(16)



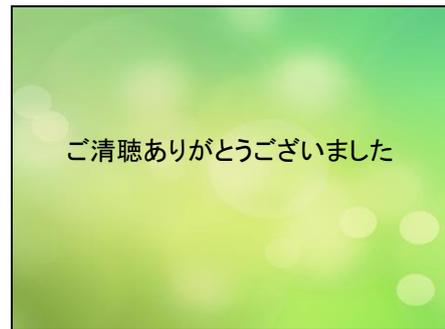
(17)



(21)



(18)



(22)



(19)



(20)

